

第2回福祉用具専門相談員研究大会

開催案内

【テーマ】

福祉用具活用の更なる深化
～ 根拠に基づいた福祉用具の活用 ～

2021年6月21日(月)
会場：日本教育会館(一ツ橋ホール)

【メッセージ】

令和元年6月17日、業界として初めてとなる福祉用具専門相談員研究大会を開催し、約350名の方々にお集まりいただき、盛会のうちに終えることができました。令和の時代に入り、私たちは新たな一步を踏み出すことができました。

この研究大会は毎年行うことにより、福祉用具専門相談員のレベルアップ、新たな気付き、専門知識のさらなる習得につながると考えます。その思いを込めて、第2回福祉用具専門相談員研究大会を令和2年6月16日に開催することとしましたが新型コロナウイルスの影響により、やむなく1年延期をさせていただきました。

第2回大会のテーマは、「福祉用具活用の更なる深化」～根拠に基づいた福祉用具の活用～と設定いたしました。

介護保険制度における福祉用具サービスとは、単にモノを提供するのではなく、アセスメントやモニタリング等、福祉用具専門相談員の専門性に基づいて福祉用具の機能を提供するサービスです。その専門性の根拠を深く追求し、必要な用具が必要なタイミングで利用者に提供する為にはどうしたらいいかという事を今回テーマの念頭に置いています。

また、新型コロナウイルスの影響により、デイサービス等に行けず在宅の時間が増加する中、ご利用者の介護状態を悪化させないためにも福祉用具の有効な活用の仕方はますます重要になりました。福祉用具専門相談員が専門性を発揮する環境として、福祉用具貸与事業所による人材育成、業務効率化、及び地域に密着した他職種との連携、そして福祉用具メーカーとの連携も重要となりました。

介護人材が慢性的に不足する中、福祉用具サービスは今後更に必要となってきます。福祉用具業界は研究大会を通じて切磋琢磨し、エビデンスに基づいた有効なサービス計画書を作成することが今後ますます重要となります。

皆さまの積極的な参画を期待いたします。

第2回福祉用具専門相談員研究大会 大会長 小野木 孝二

1 . 研究大会開催概要

【大会名称】

第2回福祉用具専門相談員研究大会

【主催】

第2回福祉用具専門相談員研究大会 実行委員会

【共催】

(一社)日本福祉用具供給協会(日福協)

(一社)全国福祉用具専門相談員協会(ふくせん)

【大会組織】

大会長 小野木 孝二(日本福祉用具供給協会)
副大会長 岩元 文雄(全国福祉用具専門相談員協会)
大会顧問 幸田 正孝(元 厚生省事務次官)
山内 繁(元 国立障害者リハビリテーションセンター研究所長)

実行委員会

委員長 荒井 祐子(有限会社スマイルケア)
委員 千葉 博(株式会社サカイ・ヘルスケアー)
佐竹 学(株式会社トーカイ)
横山 俊之(株式会社トーカイ)
肥後 一也(全国福祉用具専門相談員協会)
中村 一男(全国福祉用具専門相談員協会)
柳田 磨利子(全国福祉用具専門相談員協会)
伊藤 広成(日本福祉用具供給協会)
淡路 陽子(日本福祉用具供給協会)

運営指導 小林 毅(日本医療科学大学)
顧問 酒井 博人(総合メディカル株式会社)

倫理委員会

委員長 白澤 政和(国際医療福祉大学大学院)
委員 肥後 一也(全国福祉用具専門相談員協会)
横山 俊之(株式会社トーカイ)

査読委員会

委員長 東畠 弘子(国際医療福祉大学大学院)
委員 千葉 博(株式会社サカイ・ヘルスケアー)
肥後 一也(全国福祉用具専門相談員協会)

【後援（予定）】

厚生労働省、東京都保健福祉局

（一社）回復期リハビリテーション病棟協会、（公社）関西シルバーサービス協会、
（一社）こうしゅくゼロ推進協議会、国際医療福祉大学大学院、姿勢活動ケア研究会、
（一社）シルバーサービス振興会、（公社）全国国民健康保険診療施設協議会、
（一社）全国デイ・ケア協会、全国福祉用具相談・研修機関協議会、（公社）全国老人保健施設協会、
（公財）テクノエイド協会、（特非）東京都介護支援専門員研究協議会、（公社）日本医師会、
（一社）日本介護支援専門員協会、（公社）日本介護福祉士会、（一社）日本義肢協会、
（公社）日本義肢装具士協会、（一社）日本車椅子シーティング協会、（一財）日本車椅子シーティング財団、
（一社）日本ケアマネジメント学会、（一社）日本言語聴覚士協会、（一社）日本在宅介護協会、
（一社）日本作業療法士協会、（公社）日本社会福祉士会、（一社）日本褥瘡学会、
（一社）日本生活支援工学会、（一社）日本ノーリフト協会、（一社）日本福祉用具・生活支援用具協会、
（公財）日本訪問看護財団、（公社）日本理学療法士協会、（公社）日本リハビリテーション医学会、
（特非）日本リハビリテーション看護協会、（一社）日本リハビリテーション工学協会、
（一社）日本リハビリテーション病院・施設協会、福祉用具プランナー研究ネットワーク 50音順

【プログラム】

『第一会場：3階 一ツ橋ホール』

- ・受付開始 10：00 ~
- ・開会セレモニー 11：00 ~ 11：40
大会長挨拶
来賓挨拶
- ・特別講演 11：40 ~ 12：20
講師：蒲原 基道 氏
社会福祉法人 友愛十字会理事長（前厚生労働事務次官）
- ・演題発表1（口述） 13：20 ~ 14：20
- ・休憩 14：20 ~ 14：35
- ・演題発表2（口述） 14：35 ~ 16：05
- ・発表5（老健事業報告） 16：05 ~ 16：25
- ・休憩 16：25 ~ 16：40
- ・シンポジウム 16：40 ~ 17：30
- ・閉会式 17：30 ~ 17：40

『第二会場：7階 707会議室』

- ・演題発表3（ポスター） 13：20 ~ 14：20

『第三会場：7階 中会議室』

- ・ランチオンセミナー 12：20 ~ 13：00
- ・演題発表4（ポスター） 14：35 ~ 16：05

『9階 喜山倶楽部』

- ・懇親会 18：00 ~ 20：00

2. 発表者募集要項

【募集内容】

口述発表 12組（個人又はチーム）

ポスター発表 14組程度（個人又はチーム）

口述発表、ポスター発表のイメージは別紙1（P10）「口述・ポスター発表の概要」を参照ください。

運営の都合により、口述（またはポスター）発表で登録した演題であっても、ポスター（または口述）発表に変更となる場合があります。

【応募要件】

- ・日福協正会員所属の福祉用具専門相談員またはふくせん正会員であること
個人、事業所またはチームでの応募が可能です。
チームでの応募の場合、筆頭の発表者は日福協正会員所属の福祉用具専門相談員またはふくせん正会員である必要がございます。共同演者には、他職種（介護支援専門員、作業療法士、理学療法士等）や、福祉用具メーカー（但し、日福協会員またはふくせん賛助会員に限る）の登録が可能です。
上記以外の発表者形式をお考えの場合は事務局までお問合せください。
- ・別途、大会長または副大会長が推薦する者

【発表内容】

大会テーマに沿った発表を募集します。（テーマ1～4は締め切りました。）

テーマ区分	関連キーワード	
テーマ1：締め切り済 福祉用具利用効果の追及	福祉用具の利用効果 （褥瘡・排泄・移動支援...）	フィッティング アセスメント
	ADL指標	介護ロボット
	福祉用具選定の根拠	メーカーとの共同発表
テーマ2：締め切り済 地域、多職種連携の取り組み	多職種連携	地域密着
	サービス担当者会議	地域包括ケア
	チームアプローチ	地域ケア会議
	他職種との共同発表	自治体・地域包括との連携
	住環境整備	災害支援
テーマ3：締め切り済 事業所としての取り組み	人材教育	生産性向上
	人材育成	ICT化
	サービスの質向上	
テーマ4：締め切り済 経験3年未満相談員の福祉用具 導入事例（チャレンジ発表）	ケアマネジャーの要望	ADL
	福祉用具選定の根拠	利用者の経過
	アセスメント	
テーマ5：募集中 新型コロナウイルスに対する取 り組み	新しい生活様式	感染防止対策
	3密回避	webによるケアカンファレンス
	Withコロナ	多職種連携
	テレワーク	

関連キーワードは演題作成にあたっての参考であり、全てのキーワードを網羅する必要はありません。
テーマ4の「経験3年未満」とは、発表申し込み時点での経験年数といたします。

【演題登録料】

無料

【演題の二次使用权について】

演題（抄録）の二次使用权・許諾権は ふくせん および 日福協に帰属します。

【発表方法】

- 口述発表 スライドデータを使用して発表して頂きます。
発表後、質疑と座長コメントの時間がございます。
制限時間については、発表7分・質疑3分を原則とします。
- ポスター発表 発表用ポスターを掲示し発表して頂きます。
発表後、質疑と座長コメントの時間がございます。
制限時間については、発表7分・質疑3分を原則とします。

【倫理的配慮について】

利用者等のプライバシー保護の観点から倫理的配慮について、本研究大会倫理委員会が確認を行います。研究の計画・実行・分析・抄録作成の過程では、個人の尊厳、人権の尊重に最大限の配慮をお願いします。抄録原稿様式において、具体的にどのような方法で倫理的配慮を行ったかを記述していただきます。

【募集期限】

発表申込・抄録提出 2021年2月28日（日）

倫理審査、査読審査、選考を行います。選考結果については2021年3月31日（水）にお知らせ致します。ポスター発表・口述発表の区分決定についても併せてお知らせいたします。

【口述・ポスター発表の申込について】

申し込みはまず別紙2（P11）「発表申込書」及び別紙3（P12）「抄録原稿」に記入頂きご提出ください（〆切2021/2/28）。

当日、抄録原稿を掲載した抄録集を参加者へ配布します。

また、発表申し込みいただいた方には、抄録作成のご参考までに第1回研究大会の抄録データをお送りいたします。別紙4（P13）も参考にしてください。

【演題登録までの流れ】

募集期間満了後、倫理審査、査読審査、選考を行います。

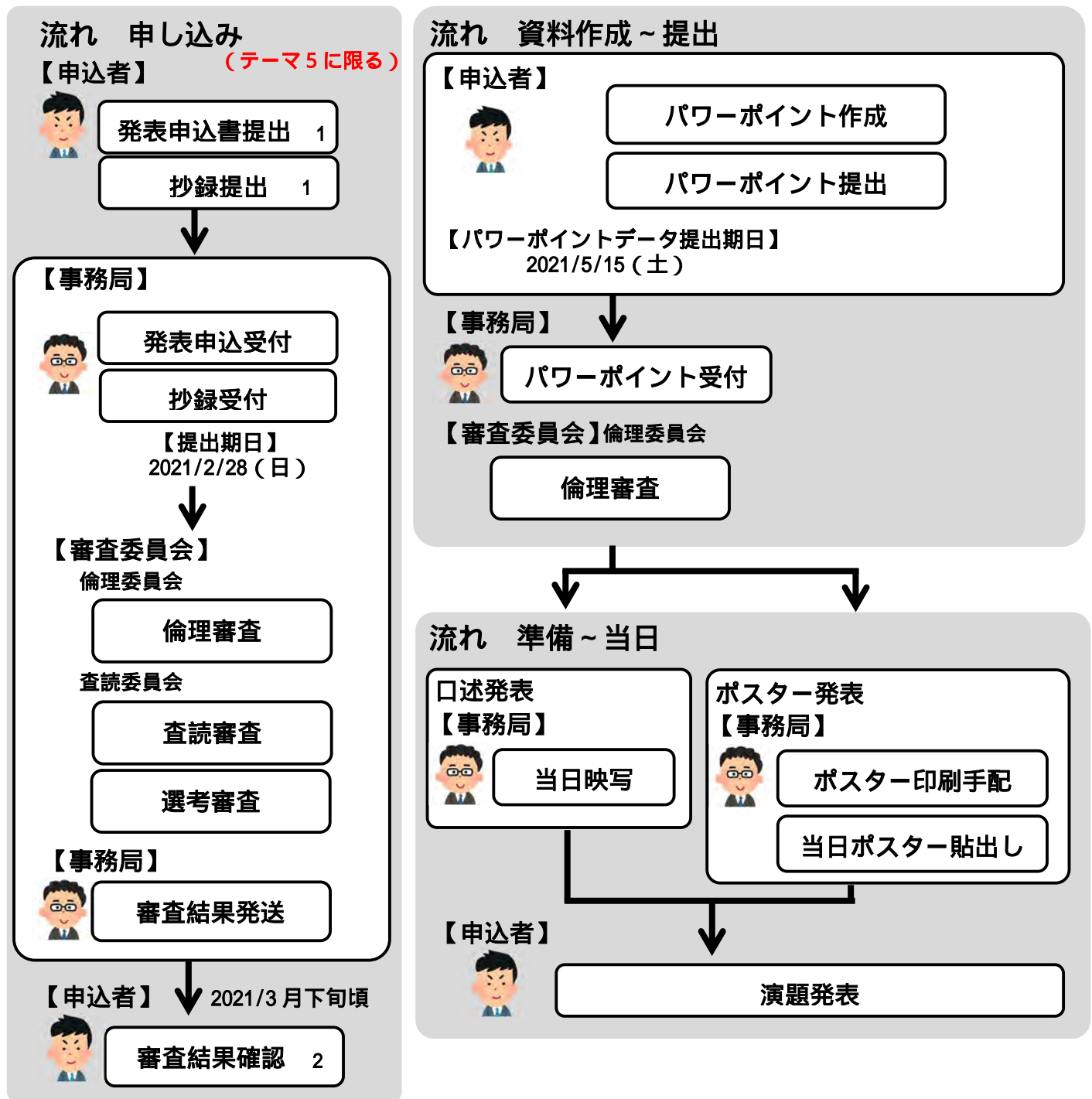
審査結果を応募者に返答します。

- ・選考に残った方は発表資料（パワーポイント）を作成して頂きます（〆切2021/5/15）。

作成方法などについては、審査結果と併せてご連絡致します。

- ・尚、抄録原稿は大会抄録に掲載します。

【申し込み から 当日までの流れ】



- 1 発表申込と抄録は同時のご提出で問題ありません。
- 2 審査結果が発表可能であった場合に、流れへ進みます。その際にパワーポイント作成にあたっての注意事項等をお知らせします。

3．参加募集について

当初のお申込みは一旦解除させていただきました。

開催日までまだ期間がございますので、参加募集については改めてご案内申し上げます。

4．協賛広告募集について

当初のお申込みは一旦解除させていただきました。

開催日までまだ期間がございますので、協賛広告募集については改めてご案内申し上げます。

5 . その他事項

【会場】

日本教育会館（一ツ橋ホール）

所在地：東京都千代田区一ツ橋 2-6-2



【会場へのアクセス】

- ◆ 地下鉄 都営新宿線・東京メトロ半蔵門線 神保町駅下車 徒歩3分(A1出口)
- ◆ 地下鉄 都営三田線 神保町駅下車 徒歩5分(A1・A6出口)
- ◆ 地下鉄 東京メトロ東西線 竹橋駅下車 徒歩5分(1b出口)
- ◆ 東京駅から 東京メトロ丸の内線 → 大手町駅 → 東京メトロ半蔵門線 → 神保町駅
- ◆ 羽田空港から 京急線～都営浅草線 → 三田駅 → 都営三田線 → 神保町駅

別紙 2 ～ 5 の様式ファイルは、日福協ホームページ内の研究大会コーナーにあります。（「第2回福祉用具専門相談員研究大会」で検索）

本研究大会について、ご不明な点などございましたら 下記事務局までお問い合わせください。

一般社団法人 日本福祉用具供給協会 事務局（担当：伊藤、淡路）

電話：03-6721-5222 FAX：03-3434-3414

email：jimukyoku@fukushiyogu.or.jp

一般社団法人 全国福祉用具専門相談員協会 事務局（担当：肥後、中村、柳田）

電話：03-5418-7700 FAX：03-5418-2111

email：info@zfssk.com

ポスター発表の概要

ポスター発表とは、発表内容を大判ポスターにまとめ、会場の壁などに貼り、発表者はポスターの前に立ち、聴き手から説明が求められればその都度説明するといったプレゼンテーションの一形式です。

本研究大会では事例や活動内容等を大判ポスターにまとめて頂き、発表者（発表団体の代表者）は決められた時間の間ポスターの前に立ち、聴き手と対話形式で討論を行って頂きます。

イメージ



口述発表の概要

口述発表とは、発表者が演台に立ちスライドなどを用いて講演するプレゼンテーションの一形式です。

本研究大会では事例や活動内容等をパワーポイントにまとめ発表して頂きます。発表後、質疑応答の時間があり発表者は質疑応答に応えて頂きます。

イメージ



発表区分	<input type="checkbox"/>	口述発表を希望				<input type="checkbox"/>	ポスター発表を希望					
テーマ区分	<input type="checkbox"/>	テーマ5:新型コロナウイルスに対する取り組み										
演題名 (副題)												
フリガナ 発表者氏名				所属								
会員区分	会員	<input type="checkbox"/>	全国福祉用具専門相談員協会(ふくせん)	会員番号						非会員	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	日本福祉用具供給協会									
資格 (複数可)	<input type="checkbox"/>	福祉用具専門相談員			<input type="checkbox"/>	福祉用具プランナー						
	<input type="checkbox"/>	福祉用具選定士			<input type="checkbox"/>	福祉住環境コーディネーター検定						
	<input type="checkbox"/>	その他()										
経験年数	年 月 (福祉用具貸与・販売・住宅改修などに従事した年数)											
研修受講歴	<input type="checkbox"/>	更新研修(ふくせん認定)				<input type="checkbox"/>	福祉用具サービス計画作成SV(スーパーバイザー)養成研修					
勤務先住所	〒											
電話(携帯可)				メール(PC)	@							
フリガナ 共同演者氏名				所属							<input type="checkbox"/>	発表者と同じ
会員区分	会員	<input type="checkbox"/>	全国福祉用具専門相談員協会(ふくせん)	会員番号						非会員	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	日本福祉用具供給協会									
フリガナ 共同演者氏名				所属							<input type="checkbox"/>	発表者と同じ
会員区分	会員	<input type="checkbox"/>	全国福祉用具専門相談員協会(ふくせん)	会員番号						非会員	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	日本福祉用具供給協会									
フリガナ 共同演者氏名				所属							<input type="checkbox"/>	発表者と同じ
会員区分	会員	<input type="checkbox"/>	全国福祉用具専門相談員協会(ふくせん)	会員番号						非会員	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	日本福祉用具供給協会									
フリガナ 共同演者氏名				所属							<input type="checkbox"/>	発表者と同じ
会員区分	会員	<input type="checkbox"/>	全国福祉用具専門相談員協会(ふくせん)	会員番号						非会員	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	日本福祉用具供給協会									
フリガナ 共同演者氏名				所属							<input type="checkbox"/>	発表者と同じ
発表申込締切	2021年2月28日(日)			抄録原稿提出締切	2021年2月28日(日)							
送付先	email: jimukyoku@fukushiyogu.or.jp *送付件名は必ず「第2回福祉用具専門相談員研究大会発表」としてください。											

第 2 回福祉用具専門相談員研究大会抄録原稿

氏 名(所 属)	
発表区分	口述発表
	ポスター発表

【演題】 (フォント：MS明朝，フォントサイズ：10.5) (要旨文字数：全角約300文字)

演題 (副題)	
要旨	

【本文】 (フォント：MS明朝，フォントサイズ：10.5) (本文文字数：全角約1,250文字)

【目的】	
【方法】	
【倫理的配慮】	
【結果】	
【考察と今後の課題】	

第 2 回福祉用具専門相談員研究大会抄録原稿（サンプル）

氏 名(所 属)	
水越 良行 (株式会社ヤマシタ)	
発表区分	口述発表
	ポスター発表
【演題】	(フォント：MS明朝，フォントサイズ：10.5) (要旨文字数：全角約300文字)
演題 (副題)	社内研修による人財育成とサービス品質の向上
要旨	福祉用具貸与はサービス業であり「人財」が品質の要である。サービス品質を高めるための社内研修について、その取り組みと成果の一部を報告する。
【本文】	(フォント：MS明朝，フォントサイズ：10.5) (本文文字数：全角約1,250文字)
【目的】	ヤマシタのサービスの根幹は高い専門性や提案力である。特に社員研修に力を注ぎ、充実させることで社員一人ひとりのスキルを高めサービスの品質を向上させる。身につけた専門性を武器に利用者の個性やニーズに適合したサービスの提供を実現する。これによりケアマネジャーの評価や地域からの信頼を集める。研修においては知識の習得だけでなくそれを「発揮」することが重要であると考え、提案力や発言力、伝える力、マナーを含めたコミュニケーションスキルを全ての職種において教育する。特に新入社員については、事業拡大における人員補充や配置と連動し、育成による早期戦力化を目指す。
【方法】	年間約 300 回の集合研修と現場リーダーを中心とした OJT との連動。研修の企画・運営・講師として社内から選抜した「研修チーム」を発足させ研修運営を完全内製化する。それにより職種やキャリアに応じ、現場の実業務に即したカリキュラムを実践できる。新入社員については 2 か月間の合宿型研修を開催し早期戦力化を図る。全ての研修において、グループワークやロールプレイを中心にアウトプットトレーニングのウェイトを高めている。社員個別の育成計画書を活用し現場リーダーと研修チーム連携による育成の管理、また、事後課題の抽出や定期的な確認テストを実施し知識や技術の定着化を図る。
【倫理的配慮】	* 利用者等のプライバシー保護の観点において、どのようにして倫理的配慮を行ったか記入します。 例：文書（もしくは口頭）にて、匿名を条件に利用者本人の承諾を得た。
【結果】	2018 年度入社の新入社員においては、入社初年度に全員が通期の業績目標を達成。既存社員については、ヤマシタ「5つの専門性」(以下記述)を中心に研修を実施し、特に提案力や調整力が必要な商材に関して以下の成果につなげている。 ・移乗用具（リフト、スライディングシート・ボード）の出荷数 42%増加。 ・車いす出荷におけるモジュール車いすの割合 10%上昇。 ヤマシタ「5つの専門性」とは 1．転倒しない環境提案（トータルコーディネート：アセスメント力） 2．誤嚥を防ぐ支援（臥位・座位の姿勢管理：適合力） 3．認知症に寄り添う（症状の理解：コミュニケーション力） 4．「座る時間」を快適に過ごす（車いすシーティング：調整力） 5．持ち上げない抱え上げない介護（ノーリフト普及：提案力）
【考察と今後の課題】	若手社員のフォローアップを中心に、研修で学んだ知識を発揮し成果につながる取り組みを現場と一体となり展開していく。ヤマシタのプロミス「からだ、こころ、くらしの豊かさを届け続ける」を行動に移し、より多くのお客様が今よりも自己実現できる生活環境を継続して届けていく。また、研修チームメンバーが福祉用具専門相談員更新研修や福祉用具サービス計画書 SV 研修などの講師として協力しており、福祉用具専門相談員のスキルアップや業界の発展にも微力ながら貢献できるよう活動していきたい。